

アミロイドーシスに関する調査研究班 平成21年度の研究成果

研究分担者: 愛知医科大学 腎臓・リウマチ膠原病内科 今井裕一

[研究題目] ALアミロイドーシス腎不全患者での血液透析膜による遊離軽鎖除去に関する検討

[目的] AL型全身性アミロイドーシス患者において血液透析膜による遊離軽鎖除去率を明らかにし、臨床的効果を検討する

[方法、結果] 下記シエーマ参照

血液透析前後での血清遊離軽鎖を測定し、除去率(%)を比較する。

表1 κ、λ鎖の除去率

	κ鎖	λ鎖
HD	36%	22%
HDF	53%	37%

表2 κ、λ鎖の除去率

	κ鎖	λ鎖
PS膜(HDF)	68%	43%
PMMA膜(HD)	53%	32%

[結論] 大量化学療法に適応のない原発性アミロイドーシスの患者において、アミロイドの前駆蛋白である血清遊離軽鎖をHDF (PS膜)療法により、血液中から除去し、血液学的ないしは臨床的改善をはかることで、原発性アミロイドーシスの治療改善に大きな貢献が期待出来ると考えている。